

<b>B 1 9</b> <b>中 級</b> (TV 聴講あり)	<h2 style="margin: 0;">他社特許監視（ウォッチング）の適切な方法</h2> <p style="margin: 0;">漏れ・抜けのない他社特許ウォッチングをするために 国内外の審査経過、出訴等情報収集ノウハウ</p>
講 師	酒井 美里（スマートワークス㈱ 代表取締役、元セイコーエプソン㈱ 知的財産本部）
日程・会場	東京本会場 → TV会場：JPDS 名古屋、大阪、九州各営業所セミナー室 2022 年 1 月 18 日（火）
時 間	1 日間（10:00～16:00）// 昼休憩 11:45～12:45
アクセス	<a href="https://www.jpds.co.jp/company/access.html">https://www.jpds.co.jp/company/access.html</a>
定 員	東京本会場 24 名 // 各会場共 10 名（先着順申し込み）
受講料	本会場：20,000 円（税込 22,000 円）、TV会場：16,000 円（税込 17,600 円）
対 象	特許調査担当の初級から中級者。 ※経験不問
<b>内 容</b>	
<p>製品実用化や発売前における侵害予防調査で見つかった他社の問題特許に対する漏れ・抜けのない監視（ウォッチング）適切な方法を、企業での実務経験豊富な講師が分かりやすく解説します。適切なウォッチングの方法、国内外審査経過情報、包袋情報やパテントファミリーの確認方法などを実務の流れに沿って体系的に解説します。日頃、体系立てて学ぶ機会がないなどの悩みをお持ちの方に最適な講座です。</p>	
<b>プログラム</b>	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 他社特許監視（ウォッチング）の目的           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ SDI（公報発行の定期配信）とは？               <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 公開系／登録系</li> </ul> </li> <li>➢ ウォッチング（経過監視）とは</li> </ul> </li> <li>2. 国内外審査経過情報の活用           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 経過情報とは？</li> </ul> </li> <li>3. 問題特許が権利化されたら？           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 動向調査で注目特許を見つけたら？</li> <li>➢ 侵害予防調査で問題特許を見つけたら？</li> </ul> </li> <li>4. 国内特許監視の設計方法           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ SDI の設計               <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 公開系／登録系</li> <li>◇ 技術分野による違い（電気／化学）</li> <li>◇ 国内／国際公開の扱い（IPC）</li> </ul> </li> <li>➢ SDI 結果の基本的な見方               <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 公開系／登録系</li> </ul> </li> </ul> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>5. SDI 抽出結果等の特許監視           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 国内経過情報をどのように見ていくか</li> <li>➢ 権利化後の維持・ライセンス</li> </ul> </li> <li>6. 海外特許監視の設計方法           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 国の選定（生産国、販売国）</li> <li>➢ SDI               <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 海外 SDI 設計の基礎</li> <li>◇ PCT を含める検索条件（IPC）</li> </ul> </li> <li>➢ 海外特許監視のポイント               <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 審査経過情報の確認</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>7. 国内外同時に意願した時に、どのように追っていくか           <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ パテントファミリー</li> </ul> </li> </ol>

## 【申込み】

当社ホームページよりお申し込みください。 URL: <https://www.jpds.co.jp/seminar/application.html>

## 【備考】

- ・ セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。セミナー当日に可能な限りお答えさせていただきます。

## 【日本弁理士会継続研修について】

本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。ただし、TV会場での聴講の場合には継続研修の認定対象外となります。